富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和4年10月号
No.244

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

秋冷の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝致します。
今月の掲載は、緩和ケアセンター、歯科口腔外科、腎代替療法選択外来・腎移植外来の紹介です。

診療科の紹介　緩和ケアセンター

◆ 診療体制

平成28年3月に緩和ケアセンターを開設してから6年が経過しました。平成29年1月からは外来診療棟1階「1E 緩和ケアセンター」に移転し外来診療を行っています。また、がん看護外来・がん相談支援センターが併設されており、様々な部署と連携し活動しています。

令和4年10月現在、舩木部長、峠部長の2名で緩和ケア外来・緩和ケア病棟・緩和ケアチームにかかわる業務を分担して行っています。緩和ケアセンターではジェネラルマネージャーを中心に3名の緩和ケア認定看護師が、がん看護外来を担い、心理的サポートや苦痛緩和・リンパ浮腫などに対応しています。また、がん相談支援センターでは、がん専門相談員が相談対応しております。患者さんのご紹介は、毎日予約枠を設けて受け入れておりますので、地域連携室を通じて予約して頂きたく存じます。相談・通院について等の問い合わせに関しては緩和ケアセンターまでお願い致します。

緩和ケアセンタースタッフ

緩和ケア病棟

外来受診表

		月	火	水	木	金
緩和ケア外来　舩木	9:00〜12:00	○	○	○	○	○
緩和ケア外来　　峠		○	○	○	○	○
がん看護外来	9:00〜16:00	○	○	○	○	○
がん相談支援センター		○	○	○	○	○

◆ 診療案内

診療内容は、がんをはじめとする病気に伴う苦痛（痛みなどのつらい症状をはじめ、今後の不安、療養上の気がかりなど）を和らげることです。具体的には、（1）からだの痛みや息苦しさ、吐き気などによるつらさ、生活上の困りごとを抱えている患者さんへの対応、（2）患者さんやご家族の気持ちのつらさへの対応、（3）緩和ケア病棟へ入棟希望患者さんの面談、（4）緩和ケアチーム介入患者さんの退院後の継続診療、（5）緩和ケア病棟から退院された患者さんの継続診療などです。

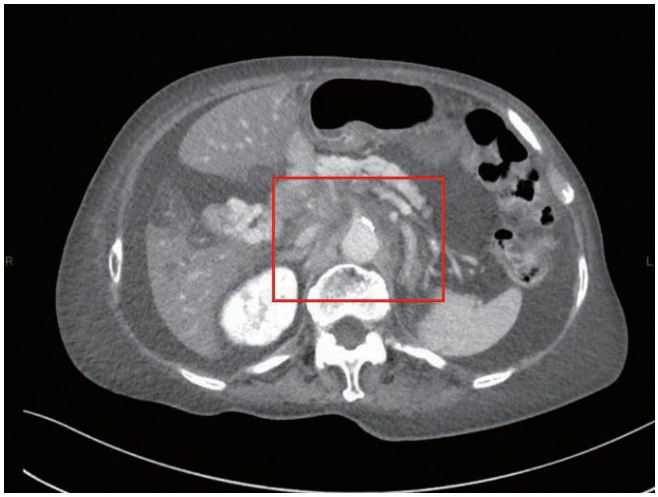
緩和ケア外来では、当院に通院中の患者さんだけではなく、かかりつけの診療所等に通院中の患者さんの症状緩和につきましても対応しておりますので、気軽にご相談ください。

また、緩和ケア病棟へ入棟希望患者さんの面談は、概ね30分程度かかります。ご家族だけでの受診でも構いませんが、診療では治療経過や現在の症状についてうかがわせていただいております。そのため、なるべく患者さんもご一緒に来院頂けると幸いに存じます。

◆ 症例提示

症例は80歳代の女性です。胆道系悪性腫瘍の再発にたいして放射線治療が行われたのちに、地域のクリニックへ紹介、在宅診療の方針となった方です。直後より嘔気、下痢、経口摂取困難、下肢浮腫が続き、血圧が低下してきたことから当科へご紹介頂き、緩和ケア病棟へ入院となりました。CT上、腹部リンパ節転移、両側胸水貯留、腹水貯留を認めました。腸管の通過障害はありませんでした。まずは胃腸への負担を軽減するため、NSAIDsをアセトアミノフェンに変更するとともに、制酸剤を追加しました。これにより嘔気は軽減しましたが、今度は腹部膨満や呼吸困難を訴えられました。腹部膨満や呼吸困難は食後に一段と増強し、経口摂取量に影響を与えていることが疑われました。そこで、ロペラミド塩酸塩をコデインリン酸塩に変更しました。コデインリン酸塩は止痢作用に加え、鎮痛作用・鎮咳作用を有します。また、コデインの一部は体内でモルヒネに代謝され、呼吸困難の緩和も期待できます。変更後、腹部膨満や呼吸困難はほぼ消失しました。さらに、緩和ケア病棟の管理栄養士と相談し、食事の形態を本人が食べやすいものに調整しました。経口補助食品は、嗜好に合わないことから中止しました。その結果、食事は8割程度摂取できるところまで回復しました。下痢の回数も減ってきましたが、消化不良がみられたことから消化酵素配合剤を追加し，最終的に1日1回程度の排便となりました。胸腹水貯留と下肢浮腫については利尿剤を追加するとともに、理学療法士が軽い運動や下肢マッサージを行うことで、下肢浮腫の改善がはかれました。不安等の精神症状にたいしては精神科医と定期的に回

CT（放射線治療前）：腹部リンパ節腫大（赤枠）を認めます。



CT（緩和ケア病棟入棟時）：腹部リンパ節は縮小しています（下）が，鎖骨下，縦隔にリンパ節腫大が出現しており（上），胸腹水が著明に貯留していました。

診を行い、抗不安薬や睡眠薬の調整を行いました。その後、おおむね強い苦痛なく、穏やかに過ごせるようになりました。

当院の緩和ケア病棟には担当の緩和ケア医、精神科医、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、心理士がおり、協力して全人的苦痛の緩和に取り組んでいます。

また、症状が安定し、自宅での療養を希望された方は自宅へ退院しています。医療ニーズの高い患者さんが多いことから、安心・安全に在宅療養へ移行し、継続することできるようにするため、積極的に退院後訪問に取り組んでいます。緩和ケアセンターでは退院後も、当院と連携協力する地域の先生方といつでも連絡がとれる体制をとり、紹介患者さんの緊急入院体制を確保しております。

◆ おわりに

いつも当科への患者さんの紹介、誠にありがとうございます。今後もスタッフ一同、常に新しい知識の習得・技術の向上に努め、より苦痛緩和に対するケアの質を高めていきたいと思います。患者さんの状態に一番適した方法を提供できるようにしていきます。在宅緩和ケアを推進するために、緩和ケアに関する定期的な地域連携カンファレンスをおこなっておりますので、引き続き先生方よりご厚誼を受け賜わりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

（文責：峠　正義）

緩和ケア病棟では，季節が感じられるように配慮しています。

歯科口腔外科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

歯科口腔外科では、口腔顎顔面領域に関わる疾患の治療、手術を行っております。智歯抜歯術、顎骨嚢胞摘出術などの一般的な口腔外科手術をはじめ、顎骨骨折の観血的整復術や蜂窩織炎の消炎術など救急患者に対する手術や、顎矯正手術や歯科インプラント治療のための骨造成術といった専門性の高い手術も行っています。

顎変形症患者に対する顎矯正手術は、当科の専門分野の一つです。Le Fort Ⅰ型骨切り術、下顎枝矢状分割法、歯槽部骨切り術、オトガイ形成術などの顎矯正手術を数多く行っています。

総合病院の歯科として周術期口腔機能管理にも力を入れております。がん等に関わる手術、放射線治療、化学療法などを受ける患者さんの口腔内トラブル（口内炎、口腔乾燥、口腔内出血など）に対する治療を行っており、医科歯科連携に取り組んでいます。

歯科医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

小島（こじま）　拓（たく）

【患者さんに向けた一言】
・患者さんの状況に応じて最善の治療を提供できるよう努めてまいります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・顎変形症
【専門医資格】
日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）

医長

倉部（くらべ）　華奈（かな）

【患者さんに向けた一言】
・安心して受診していただけるよう、気持ちに寄り添った丁寧な診療を心がけています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・口腔外科一般
【専門医資格】
日本口腔外科学会認定医

歯科医師

河原田（かわはらだ）　壮史（まさみ）

【患者さんに向けた一言】
・患者さんには常にわかりやすい説明を心がけ、安心して治療を受けて頂くよう努めてまいります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・口腔外科一般
【専門医資格】
日本口腔外科学会認定医、日本口腔科学会指導医

歯科医師

内川（うちかわ）　恵里（えり）

【患者さんに向けた一言】
・分かりやすい説明と丁寧な診療を心がけています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・口腔外科一般
【専門医資格】
日本口腔外科学会認定医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診	担当医	内川	担当医	河原田	担当医
再診	小島		小島		小島
再診	倉部		倉部		倉部
再診	河原田		河原田	河原田	河原田
再診	内川	内川	内川		内川

看護専門外来

腎代替療法選択外来・腎移植外来

左より：池田千津子主任、渡邊真由美副主幹、斎藤萌主任

現代では８人に１人が腎臓病と言われています。腎臓病は自覚症状があまりなく、知らないうちに病状が悪化しがちです。そして慢性的に悪化する腎臓病は、最終的には腎臓の機能が低下してしまうため、腎臓の働きを補う治療（腎代替療法）が必要になります。

当院の腎代替療法選択外来では、複数ある腎代替療法それぞれの特徴を患者さんに知ってもらい、ライフスタイルや生活環境に合わせた治療法を患者さん自身で選択することができるよう情報提供や支援を行っています。

また当院では、年間約 10 例ほどの腎移植を行っており、これまでに 157 例の腎移植を行っています。腎移植外来には現在 125 名の腎移植を受けた患者さんが通院しています。腎移植外来では腎移植を受けた患者さんの薬の副作用のチェックや内服状況の確認を行い、生活面や食事の指導や生活上の不安の相談など家族を含め精神面のサポートを行っています。また腎移植を希望されている方や家族に腎移植について情報提供を行い意思決定支援を行っています。

私たち、認定レシピエント移植コーディネーター・腎代替療法専門指導士が行っています。

ご利用概要

対　象　・腎移植患者とその家族、腎移植を希望されている方とその家族
・腎代替療法について説明・相談を受ける患者とその家族（1人2回まで）

診察日　腎移植外来・腎代替療法選択外来：月～金曜日　10：00～12：00　13：30～14：30

予　約　予約制　1人15～30分　腎代替療法選択外来は1時間程度

場　所　1階　医療相談室２または３

担　当　認定レシピエント移植コーディネーター　渡邊・池田・斎藤
腎代替療法専門指導士　池田

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

11月開催予定

★第161回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和４年11月10日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和４年11月10日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟Ｂ１階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和４年11月14日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和４年11月17日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟Ｂ１階会議室

★第120回 漢方症例検討会
日 時：令和４年11月18日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和４年11月25日（金）17時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール
講 義：「鑑別すべき二次性糖尿病」
問題演習：「糖尿病性腎症に対する食事指導」
療養指導の実際：
「糖尿病性腎症透析予防指導の実際～指導後の経過～」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和４年11月1、8、15、22、29日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

12月開催予定

★第162回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和４年12月１日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

★第53回 富山県立中央病院臨床病理検討会
日 時：令和４年12月８日（木）18時30分から（1時間程度）
場 所：富山県立中央病院　５階ホール
内 容：「血栓症を合併し急速に進行した間質性肺炎の一剖検例」

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和４年12月８日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟Ｂ１階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和４年12月12日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

★在宅緩和ケア懇話会
日 時：令和４年12月13日（火）18時30分から（1時間程度）
場 所：富山県立中央病院　５階ホール

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和４年12月23日（金）17時から
場 所：富山県立中央病院　５階ホール
講 義：「妊娠と耐糖能異常」
問題演習：「血糖測定機器　Up Date」
療養指導の実際：「耐糖能異常を伴う妊娠の管理～症例を通して～」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和４年12月6、13、20、27日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟Ｂ１階会議室

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、環境整備を徹底して実施いたします。

2 11月の外来診療に関する医師不在日

科 名	医 師 名	不 在 日
循環器内科	臼田医師	10日(木)
	近田医師	25日(金)
心臓血管外科	上田医師	17日(木)
外　科	前田医師	11日(金)
	吉川(朱)医師	2日(水)、11日(金)、16日(水)
	羽田医師	8日(火)
	廣瀬医師	24日(木)
整形外科	香川医師	25日(金)
脳神経外科	青木医師	4日(金)
産婦人科	谷村医師	4日(金)
泌尿器科	島崇)医師	11日(金)
	武澤医師	7日(月)
眼　科	山田医師	2日(水)、9日(水)、16日(水)、17日(木)、30日(水)
歯科口腔外科	小島歯科医師	4日(金)、14日(月)、18日(金)
	倉部歯科医師	4日(金)
放射線治療科	豊嶋医師	10日(木)、11日(金)
	髙医師	11日(金)

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

3 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰り頂く場合があります。ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前に FAX いただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

のどかな秋晴れが心地よく感じられ、四季の中でも見ごたえのある季節だと思います。

行楽の秋、食欲の秋、スポーツの秋、皆さんはどの秋が好きですか?私はもちろん食欲の秋です。やはり美味しいものは、五感を楽しませてくれます。職場では、どこどこの何が美味しいとか、情報共有に努めています。

コロナも少し落ち着きなんとなく日常が戻ってきました。我慢の続く日常でしたが、そろそろ気を抜く時間や空間が必要ですね。ちょっとお出かけしてリフレッシュしたいものです。

世界情勢がまだ不安定ですが、一日も早く心穏やかに過ごせるよう祈っています。（地域連携室看護師　吉田　弘子）

新穂高ロープウェイ

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○ＦＡＸ　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp